

科 目 名

デザイン実習Ⅱ

Design Exercise Ⅱ

(昼間) 2年 前期・後期通し 2単位 選択

西郷 正浩・星加 民雄

概 要

デザイン実習Ⅰで身に付けた表現技法を用いて、建築へとシフトしたデザインの実習を行います。建築設計製図では2次元で空間構成を考えて3次元に立ち上げるというプロセスによって建築設計の基本を学んでいますが、この実習では、模型をつくりながら3次元で建築をデザインするプロセスについて学びます。また、プレゼンテーションの基礎についても学びます

学習目標

- ① 立体的空間の認識と造形発想の方法を習得する
- ② 造形発想に基づいた建築設計プロセスを習得する
- ③ プレゼンテーションの基礎的な技法を習得する

授業計画

| テ ー マ | 内 容 |
|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① 光のゲート | デザイン実習Ⅰ第4課題の構成を基本として、表からも裏からも美しく見える構成を考え、さらに人が通過することで発生する視点移動に対する見え方の変化も考慮する。 |
| ② 同上 | |
| ③ 同上 | |
| ④ 同上 | 講評会 |
| ⑤ 陰影のファサード | 光の効果を生かした建築のファサード(立面)を考える課題。内部空間への光の取り入れ方を考慮し、外観にも美しさを与えるファサードをデザインする |
| ⑥ 同上 | |
| ⑦ 同上 | |
| ⑧ 同上 | 講評会 |
| ⑨ イスのデザイン | イスは小さな建築と捉えることができ、構造・機能性・美しさがストレートに反映される。イスのデザインを通して建築デザインを考える課題である。アイディアスケッチから1/5モデルの制作。 |
| ⑩ 同上 | |
| ⑪ 同上 | |
| ⑫ 同上 | 講評会 |
| ⑬ インテリアプランニング | プライベートルームをテーマにした資料収集に基づくインテリアプランニング、および美しく分かりやすいプレゼンテーション技法の基礎を学ぶ課題である |
| ⑭ 同上 | |
| ⑮ 同上 | 講評会 |

授業方法

課題1、2は西郷が担当し、課題3、4は星加が担当します。各課題開始時に、課題の内容・意図をプリントで説明し、課題に関する話題をVTR・スライドで紹介します。

学習到達度の評価

- 1) 課題制作時に、考え方・デザインの方法・模型作成技術をマンツーマンでアドバイスし、理解度を促します。
- 2) 各課題制作後に講評会を実施し、作品の講評を通して、課題の考え方の理解・発展を促します。
- 3) 講評する選抜作品の一部を学生投票によって行うことで、学生各自が他者の作品を通して、各自の到達度を評価できるようにします。
- 4) 学生による授業評価及び独自のアンケートを行うことで、今後の演習方法の参考とします。

評価方法

全課題の提出をもって単位を認めます。評価は内容と取り組み姿勢で行います。各課題を25点で評価します。

教科書・教材

配布プリント

参 考 書

福田繁雄 著「福田繁雄の立体造形」河出書房新社
 小嶋一浩 編「ヴィジュアル版建築入門5 建築の言語」彰国社
 建築知識1998年1月号「完全模型制作マニュアル」エクスナレッジ

履修上の注意

デザイン実習Ⅰを履修していることが望ましい。

オフィスアワー

適宜、昼休み(12:00~1:00)に研究室にて講義内容に関する質問を受付ける。

| 「建築計画コース・建築構造コース」における位置づけ | 必修/選択の別 | 学習保証時間 |
|--------------------------------------------|---------|--------|
| 本科目は、シラバスに記載されている建築学科の学習・教育目標の主としてB1に関連する。 | 選択 | 45時間 |